



# 資料編

---

■ 成果指標一覧 .....	246
■ 策定経過 .....	261
■ 策定体制 .....	262
■ 市民参加による策定 .....	263
■ 職員参加による策定 .....	267
■ PTによる提言 .....	272
■ 総合計画審議会 .....	274
■ 豊明市各種関連地図 .....	278
■ 用語解説集 .....	295

1-1-1「総合的な環境施策の推進」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
環境基本計画による施策達成率(%)	30	50	70	環境基本計画の施策実施状況を表す数値として目標値を設定	施策全般の達成状況を表す指標	計画の実施状況の検証による評価値	当初計画に対する検証による自己評価値			清掃事業概要
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典			
	2004年	2010年	2015年							
ISO14001等取得事業所数(事業所)	6	13	20	市内事業所の地球温暖化防止の取り組みを推進するために目標値を設定	環境マネジメントシステムの導入	ISO14001等の取得事業所数	豊明市の環境概況			
環境フェア参加者数(人)	4,000	5,000	8,000	平成12年度より実施している環境フェア参加者数により市民の環境に対する意識度を測ることができる目標値として設定	環境イベントに対する市民意識を示す指標	当日の総合窓口による参加者数	主催者発表による参加者数			

1-1-2「生活環境の向上」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
公害の少なさに対する満足度(%)	75.9	78.0	80.0	公害の少ない街、住んでよかつた住みづつたい街にするために、住民に満足が得られるように目標値を設定	生活環境の充実状況を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・やや満足と回答した人の数÷アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			清掃事業概要
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典			
	2004年	2010年	2015年							
大気汚染苦情件数(件)	4	4	3	小型焼却炉による大気汚染防止を図る必要があるため	典型公害の大気汚染	苦情件数	公害等の苦情処理簿			
騒音苦情件数(件)	6	5	4	住工混在地域における住宅への騒音公害を少なくさせる必要がある	典型公害の騒音	苦情件数	公害等の苦情処理簿			
悪臭苦情件数(件)	2	2	1	住工混在地域における住宅への悪臭公害を少なくさせる必要がある	典型公害の悪臭	苦情件数	公害等の苦情処理簿			
不法投棄発見件数(件)	780	680	600	市内のポイ捨て等の件数を把握することにより、ごみのない街づくりを目指すため	ポイ捨て禁止条例による件数	苦情件数	環境監視員によるパトロール時に見			
雑草苦情受理件数(件)	150	100	80	住宅地における空き地の安全管理を目指すため	空き地に対する苦情件数	苦情件数	雑草等の苦情処理簿			
ふん害等の犬に関する苦情件数(件)	20	15	14	犬を飼っている人の増加により、一部のモラルの低い飼主による住環境への悪化を防ぐため	ふん害防止条例による件数	苦情件数	公害等の苦情処理簿			

1-1-3「循環型社会の形成」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
資源化率(%)	27	40	50	ごみの減量化を図るために、可燃・不燃ごみの中に混入している資源化できる物を回収ルートに乗せる。この資源化率を高めることにより循環型社会の形成を見ることが出来る	リサイクル化の施策の充実状況を表す指標	回収された資源ごみ排出量÷総排出量×100	清掃事業概要			
家庭ごみの減量等に対する満足度(%)	79.8	81.0	82.0	ごみの減量化の施策を実施することにより、焼却場、最終処分場の搬入量の減量化が実現でき、ダイオキシン等の環境問題や施設の改修・維持管理費の低減・延命化が図られ、住民の満足が得られる	市民全般からの評価からみたごみ減量化の施策の充実状況を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・やや満足と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
家庭系ごみの排出量(t)	19,542	18,301	17,670	ごみの減量化を図るために実施する施策は、家庭のごみと事業所のごみを区別して排出量の減量化を推進していく必要がある。ここでは、資源ごみも含めた家庭から出るごみの排出量を目標値とした	ごみの減量化の施策の充実状況を表す指標	可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみの総量	清掃事業概要			
事業系一般ごみの排出量(t)	5,553	4,242	3,423	ごみの減量化を図るために事業所から出るごみの排出量を数値目標とし、可燃・不燃ごみの焼却場への搬入量を減少させることを目指す	ごみの減量化の施策の充実状況を表す指標	焼却場に搬入された事業系のごみ総量	東部知多クリーンセンター搬入実績			
資源ごみリサイクル施設数(箇所)	2	3	4	資源ごみの回収は、町内巡回(月に一度)の他に常時出すことができる施設を設置することにより回収率を向上させることができる。常時出すことができる施設の箇所数を目標値とした	資源ごみ回収施設の状況を表す指標	資源ごみを常時出すことができる施設の数	清掃事業概要			
生ごみ堆肥化対象世帯数(世帯)	1,835	8,000	15,000	可燃ごみの減量と有機資源(生ごみ)の有効利用(堆肥化)の観点から市街地を中心とした家庭生ごみを分別収集する世帯数を目標として設定した	生ごみ堆肥化の状況を表す指標	生ごみ分別収集対象世帯数	清掃事業概要			
焼却場へのごみの搬入量(t)	18,697	14,813	13,818	施設の改修・維持管理費は焼却場への搬入量に比例するため、また、施設の延命化も考慮して搬入量を数値目標として設定した	ごみの減量化の施策の充実状況を表す指標	焼却場に搬入されたごみの総量	清掃事業概要			
最終処分場へのごみの搬入量(t)	2,566	2,108	1,980	最終処分場は新規に設置することは困難を要するため、延命化を図るために搬入量を数値目標とした	ごみの減量化の施策の充実状況を表す指標	焼却場から理地処分されたごみの総量	清掃事業概要			

1-1-4「火葬場・墓地」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
墓園の区画数(区画)	3,031	3,031	3,359	勅使墓園の当初計画による墓地設置区画数を市民に提供できる目標値とした	設置数	墓園設置計画による計画数	実施計画書			
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由 <td rowspan="2">指標の定義 <td rowspan="2">算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td> </td></td>	指標の定義 <td rowspan="2">算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td> </td>	算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td>	現状値算出の資料・出典			
	2004年	2010年	2015年							
墓園の使用許可数(件)	2,789	3,000	3,200	実際の使用許可数により市民墓園提供数を示す指標となる	販売実績数	毎年度の使用許可数	決算報告書			

1-2-1「水辺空間の保全と再生」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
水辺の親しみやすさに対する満足度(%)	63.9	70.0	75.0	各種事業を推進することで向上を計る	河川やたの池への関心度	年で1%	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由 <td rowspan="2">指標の定義 <td rowspan="2">算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td> </td></td>	指標の定義 <td rowspan="2">算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td> </td>	算出式 <td rowspan="2">現状値算出の資料・出典</td> <td colspan="3"></td>	現状値算出の資料・出典			
	2004年	2010年	2015年							
親水護岸整備(整備延長)(m)	10	50	100	生態系の保全を考慮して整備をする	多自然型護岸への再生	5年間で50m	皆瀬川(前後駅前区画整理区域内)			

ため池の整備箇所数(箇所)	0	2	3	治水対策事業と合せた整備をする	自然公園的な整備	5年間で1・2箇所	
ため池の浚渫(箇所)	1	2	4	治水対策事業と合せた整備をする	水質の向上	5年間で1・2箇所	勅使池
河川の水質汚濁濃度(皆瀬川)(BODmg/l)	5.2	5.0	4.5	環境基準値の3mg/lに近づける目標設定	河川の水質汚濁濃度を表す指標	10年間で15%水質を良くする	河川及び溜池の水質調査(環境課)
池の水質汚濁濃度(三崎池)(CODmg/l)	13.0	12.0	10.0	環境基準値の5mg/lに近づける目標設定	池の水質汚濁濃度を表す指標	10年間で25%水質を良くする	河川及び溜池の水質調査(環境課)
水辺環境教育の学校数(校)	2	4	8	全小学校において実施する	河川(池)環境への意識の向上		香掛小・香掛中学校の2校
水辺を守る市民団体数(団体)	0	2	4	各水系(若王子川・井瀬川・正戸川・皆瀬川)ごとに1団体	河川(池)環境への意識の向上		

1-2-2「公園・緑地」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
住民1人当たりの都市公園の敷地面積(m <sup>2</sup> )	4.42	4.56	5.28				県平均値が6.69 haではあるが、2015年までに目標値に達するよう公園・緑地推進に取り組む	県平均値以下ではあるが、これは経済的な問題もあり、目標値水準を、豊かさを実感できる市民生活を実現するために必要となる都市公園等の整備水準とし、実現性を踏まえつつ新規範となる指標	2004 = 30.05 ha に対して人口68,000人 2010 = 31.95 ha 70,000人(大原公園、中島南土地区画内公園・緑地増) 2015 = 38.05 ha 72,000人(二村山緑地面積の1/2増)	
リニューアルする公園数(箇所)	0	3	8				概ね1箇所のリニューアル工事予算は2,000万円から3,000万円ほどと考え年間において1箇所のリニューアルが限度であると思われる	近年の都市公園は多様な機能を持つ公園でなければならないことから目標値推進のため設定		
里親制度実施公園数(箇所)	0	10	20				おもね市内都市公園47公園のうち5年間で10公園を目標とし、市民が里親制度の活動を行なうことができる公園づくりを目指す。ただし、街区公園対象	ボランティア活動を通じて地域が美しく保たれるだけでなく地域住民が公園等をフィールドとする自然観察等の環境学習や地域イベント等公共施設へ多様な関わりをもつことを期待		

1-2-3「緑化」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
自然の豊かさに対する満足度(%)	72.7	75.0	80.0				市民意識調査による現状値は高い数値であり今後において街並み景観などの整備により設定	市民全般に明るく綺麗な街並みを楽しんでいただく。総合的に景観の向上を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・や満足・や満足と回答した人の数×アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
種子・苗木の配布数(件)	10,500	11,000	11,500				家庭での花・苗木による緑化の推進の向上により、街並み飾りができる	目標値をあげることににより市民全般において自然の豊かさの向上に直結する		2004実績
花いっぱい運動補助件数(区)	7	10	13				現在の7区を今後、アイデアワークショップ方式により行政区での推進に努める。26区のうち50%を目標値に設定	行政区が花いっばい運動により区内の道の路、公園等花を飾る		2004実績

1-2-4「景観づくり」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市街地の街並みの美しさに対する満足度(%)	72.8	75.0	77.0				電柱の地中化・建築協定・地区計画等の推進により、市民満足度が5年間で約2ポイント高まることを努力目標として設定	市民全般に見た、都市基盤整備における「街並みの美しさ」施策の充実状況を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・や満足と回答した人の数×アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
屋外広告物パトロール回数(回)	4	5	6				現状のパトロール回数で成果を上げているが、「市街地の街並みの美しさ」に対する満足度の向上を図るため、5年間でパトロールを1回増加する	良好な景観・風致を確保するため必要とされるパトロール回数を具体的に表す指標		豊明市都市計画課2004年パトロール実績
二村山緑地の用地取得率(%)	47.5	49.0	50.0				文化的意義を有する二村山の樹林地及び風致の保全を図るため、市民団体等のボランティアによる整備の推進を図る	市民の憩いの場としての提供、「緑の帯」地域住民の有効活用として保全に努める		実績

1-2-5「水資源」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
上水道普及率(%)	99.85	99.85	99.86				上水道の普及促進の状況を数値として目標値を設定	上水道の普及状況を表す指標	給水人口÷行政人口×100	企業団発行の上水道事業業務要覧
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
善意の井戸水の登録数(箇所)	116	120	125				過水時に自前水(生活雑水)として使用可能な井戸水の登録状況を数値として目標値を設定	井戸水の提供数を示す指標	登録実数	豊明市の環境概況

1-2-6「下水道」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
公共下水道の整備と促進(%)	64	68	72				流域下水道計画に合わせた整備をする	公共水城の水質向上	公共下水道整備計画/全体計画面積(1,097ha)	豊明市の下水道(実績値)
合併処理浄化槽の推進(%)	6	7	8				下水道の普及促進を補完する施設として合併処理浄化槽の役割があり、その利用状況を数値として目標値を設定	合併処理浄化槽の普及状況を表す指標	設置人口÷行政人口×100	実績値

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
公共下水道の整備面積 (ha)	698	751	789	流域下水道計画に合わせた整備をする	公共水域の水質向上		豊明市の下水道(実績値)			
合併処理浄化槽の設置戸数(戸)	1,700	1,900	2,100	下水道の普及促進を補填する施設として合併処理浄化槽の役割があり、その利用状況を示す戸数を設定	合併処理浄化槽の普及状況指標	設置世帯	実績数			
管更正(m)	2,420	7,120	8,120	農排汚水管渠の不明水削減	機能強化	5ヶ年計画	H4~15実績			

1-3-1「防災」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
防災への安心感に対する満足度(%)	56.6	65.0	70.0	成果指標設定時における満足度を今後の施策の展開によって更に満足度を向上させていくことを目標に定めた	自主防災の組織率、公共施設の耐震化、防災訓練等の充実を図ることにより市民の満足度の向上を目指す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数×アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
職員研修(回/年)	1	2	3	避難所運営、職員研修(訓練も含む)を順次取り入れて充実を図る	研修回数の増	5年間1回増	実績			
自主防災組織の設立(町内会)	90	124	124	東海地震に備えて早急に市内全域に設置することが必要	市内全町内会単位に設置	124町内会で全域	実績			
備蓄計画(箇所)	13市(1)小中学校(各1)	18市(1)小中学校(各1)保育園(5)	24市(2)小中学校(各1)保育園(10)	最大7,000人の避難市民を想定し備蓄計画を進め、将来的に分散備蓄も考慮して備蓄計画を定めた	備蓄場所の増	市内の南地域に分散備蓄庫の新設を計画し、10年間で全保育園に設置	現有実績			

1-3-2「消防・救急」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
消防署の数・配置に対する満足度(%)	68.7	90.0	90.0	市内全域の緊急車両6分以内到着体制を実現するため南部地域に出張所を建設し消防力の強化を図る	市民全般からの評価から見た消防署の設置・配置の充実状況を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数×アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
火災件数(件)	23	21	20	防火指導・防火広報の実施により、住民の防火意識の向上を図り火災件数を減少させる	火災件数を表す指標		火災統計			
救急出動件数(件)	2,352	2,620	2,840	毎年約4%(90件)の割合で増加している救急出動件数のうち約50%は救急を要しない救急出動であり、救急車の正しい利用を市民に働きかけ救急を要しない救急出動件数を減少させる	救急出動件数を表す指標	年間増加件数を45件に抑える	救急年報			
立入検査等件数(件)	380	410	435	現状以上に立入検査を実施することにより、防火意識が向上し、火災予防を図る	立入検査等を表す指標	年間5件増	立入検査			

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
消防訓練実施回数(件)	188	220	245	各事業所・区・町内会・自主防災組織・婦人防火クラブ等に消防訓練を働きかけ、実施回数を増やすことにより防火意識の向上を図る	消防訓練実施回数		年間消防訓練実施回数	年間5件増		消防訓練等実施届
立上り消火栓数(基)	548	563	578	区等からの要望をふまへ補助金を行い、立上り消火栓を増やす	立上り消火栓設置補助数		年間3基増			立上り消火栓台帳
地下式消火栓数(基)	588	606	621	消防水利の充足率(現状85%)を90%に増やすよう目標値を設定	地下式消火栓設置数		年間3基増			消火栓台帳
防火水槽数(基)	198	204	209	消防水利の充足率(現状85%)を90%に増やすよう目標値を設定	防火水槽設置数		年間1基増			防火水槽台帳
救急救命士数(人)	9	12	15	救急救命士が研修教育、休暇などにより欠員を生じても、救急車に救命士1名が乗車できる体制とする。また、通信業務においても救命士を配置し、口頭指導が図られる体制とした	救命士の養成		年間1人増			・豊明市救急業務に関する規程・消防力の基準
普通救命講習等受講者数(人)	2,388	2,700	2,950	AED(自動体外式除細動器)普及に伴い、AED取扱いを含めた救命講習を推進することにより、現状値に毎年50人程度の増加を目標とした	普通救命講習等受講者数		年間50人増			救急年報

1-3-3「地域の安全(防犯)」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
犯罪のない安心感に対する満足度(%)	56.2	60.0	65.0	成果指標設定時における満足度を今後の施策の展開によって更に満足度を向上させていくことを目標に定めた	犯罪の減少を図ることにより市民の満足度の向上を目指す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数×アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
防犯灯等の数・配置に対する満足度(%)	47.4	55.0	60.0	成果指標設定時における満足度を今後の施策の展開によって更に満足度を向上させていくことを目標に定めた	防犯灯の設置の推進を図ることにより市民の満足度の向上を目指す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数×アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
年間防犯モデル地区の指定(地区/年)	2	4	6	犯罪のない地域社会を図るために定めた	地区指定の増	5年で2区指定増	防犯モデル地区の指定			
防犯教室開催数(回)	10	26	52	地域の防犯教室を更に推進することで防犯意識の向上を目標に定めた	教室回数の増	5年で16回増	防犯教室実施回数			
犯罪の発生数(件)	1,828	1,600	1,400	地域社会との連帯の強化による被害防止を働きかけ、安全なまちづくりを推進することにより、現状値に毎年約10%程度の減少を目標に定めた	増加率を抑制した交通事故件数を示す指標		愛知警察署の資料			

2-1-1「成人・老人保健」

防犯灯の設置(灯)	3,340	3,760	4,110	夜間における犯罪の撲滅を推進するための目標を定めた	防犯灯の増	指標設定時点の数値は、社会環境により増加が推計され増加率で算出した	防災安全課の調べ
防犯パトロール隊数(団体)	2	12	26	犯罪の撲滅のため自主防犯活動の組織化を目標に定めた	防犯パトロール隊数の増	5年で10増し、更に5年で14増やす	防犯パトロール隊団体数
犯罪情報を市のホームページで提供(回/年)	0	4	12	犯罪情報の提供による犯罪防止を目標に定めた	犯罪情報の増	5年で4増し、更に5年で8増やす	ホームページで提供回数

1-3-4「交通安全」

基本成果指標	現状値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
交通事故からの安全性に対する満足度(%)	66.8	68.0	70.0	成果指標設定時における満足度を今後の施策の展開によって更に満足度を向上させていくことを目標に定めた	交通事故の減少を図ることに市民意識の向上を目指す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・回答した人の数÷アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査
単位施策の成果指標		現状値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
交通安全モデル地区指定(地区)	1	2	3	交通事故のない地域社会を図るために定めた	地区指定の増	5年で1区指定を増やす	交通安全モデル地区指定数
交通ボランティア人数(人)	0	9	18	交通安全意識の高揚のため、啓発、教育者の自主活動の充実を図るため定めた	人数の増	5年で9人増やす	交通ボランティア人数
交通安全教室(回)	35	50	100	幼児、幼児の保護者、児童高齢者等の交通事故発生数の減少	教室回数の増	5年で15回増し、更に5年で50増やす	交通安全教室実施回数

1-3-5「治水対策」

基本成果指標	現状値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
治水対策量(m³)	149,400	227,400	283,000	豊明市総合治水対策量の60%	治水安全度	年間平均1万1千m³	昭和59年からの実績
単位施策の成果指標		現状値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
ため池洪水調節量(m³)	73,700	120,000	165,000	年1箇所の整備を進める	流出抑制	年間平均1万m³	昭和59年からの実績(8箇所)
貯留浸透施設設置住宅による対策量(m³)	0	100	200	一般住宅から流出する雨水を一時的に貯留する	流出抑制	1戸2m³	年10戸
公共貯留浸透施設による対策量(m³)	300	700	1,000	公共施設に一時貯留施設の設置	流出抑制	歩道の透水性舗装実績	
田面貯留浸透施設整備による対策量(m³)	0	17,200	30,700	田からの流出量を調節する	流出抑制	年間2箇所	
排水路改修箇所(箇所)	5	10	20	市内における浸水区域において排水施設の能力不足箇所の改修する	流下促進	過去2年間の実績	
河川改修箇所(箇所)	0	2	3	皆瀬川において能力不足箇所を改修する	流下促進		
水位計の設置(箇所)	3	6	9	各洪水調節池(1万m³以上)に設置する	水位監視	井堰・正戸・皆瀬川に各1箇所	

基本成果指標	現状値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
健康診断や保健指導など健康づくり施策に対する満足度(%)	80.2	81.0	82.0	とよあけアクションプラン21や現行の保健福祉計画を踏まえ総合的な施策展開を行うことから、毎年0.2ポイント程度平均で満足度を高め目標年度には大半の市民から満足が得られるよう目標値を設定	1次予防・2次予防を含めた生活習慣病予防や健康づくり活動率に対する市民満足度を表す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査
単位施策の成果指標		現状値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
住民健康事後の対象者向けの健康相談者数(人)	155	300	350	自分の健康状態を正しくし、生活習慣病やそのリスクを正しく理解し健康増進を継続できる市民を増やしていくというところで、目標年度には現状値の2倍以上の目標値を設定	市民が生活習慣病の働きかけにより充実した取り組みとなっていると表す指標	健康課成人事業実績から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績から抜粋
健康診査受診率(基本健診)(%)	61.0	63.0	65.0	基本健診の受診率としては、県の目標値(60%)をすでに現状として到達している。今後の市民の受診行動も考慮し、概ね現状維持を図ることを目標とした	市民自らの健康増進として受診行動を表す指標	健康課成人事業実績から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績から抜粋
朝食を必ず食べる人の割合(%)	88.4	89.0	90.0	県の調査では、朝食を必ず食べる人が(86.2%)であり、市ではすでに現状以上に到達しているため、概ね現状維持することを目標とした	必要な栄養素を適度に摂取する事と併せて、食行動の変容が必要である。市民の食習慣の原点である朝食の行動変容への指標	右記調査項目について朝食を食べる割合を回答した人の数÷調査対象者数×100	とよあけ健康基本計画21「生活習慣関連調査」
単位施策の成果指標		現状値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
生活習慣病予防教室参加者数(人)	983	1,080	1,135	自分の健康状態を正しくし、生活習慣病やそのリスクを正しく理解し健康増進を継続できる市民を増やしていくというところで、目標年度には現状値の1.1倍以上の目標値を設定	市民が生活習慣病の働きかけにより充実した取り組みとなっていると表す指標	健康課成人事業実績から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績から抜粋
生活習慣病予防のために、健康的な生活習慣に改めたいと思う人の割合(%)	53.7	55.0	60.0	自分の健康状態を正しくし、生活習慣病やそのリスクを正しく理解し健康増進を継続できる市民を増やしていくというところで、目標年度には現状値の1.1倍以上の目標値を設定	市民の健康に関する意識啓発の成果としての指標	右記調査項目について改めたいと思う人の数÷調査対象者数×100	とよあけ健康基本計画21「生活習慣関連調査」
単位施策の成果指標		現状値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年				
健康づくり推進ボランティア数(人)	75	150	200	健康づくりに関連するボランティアは2006年度までに50人の定員枠で養成を行う予定。現状値から目標年度には、3倍の増員を目標数とする	健康づくりを推進していくうえで、行政とボランティアと市民のパートナーシップは欠かせない条件である。協働事業の位置づけとしてボランティアのマンパワーの充実は大いなる要素となる	健康課成人事業実績から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績から抜粋
ボランティアの自主活動による住民の動員数(人)	1,387	1,500	1,700	行政・ボランティア・市民・各々の協働事業として健康づくり活動を活性化していく。目標年度には市民参加の増大を現状値から概ね2倍と設定する	行政とボランティアの協働事業として市民への動員数を評価する	健康課成人事業実績から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績から抜粋

ウォーキングマップの利用者数(人)	—	1,000	2,000	とよあけアクションプラン21の具体的な展開として2005年度にウォーキングマップを作成する。目標年度には、ウォーキング人口を現行の2,000人増と設定する	とよあけアクションプラン21を受けて平成17年度よりウォーキングマップ策定後ひとつの目安として、ウォーキングマップの配布により普及活動の一環として評価する	ウォーキングマップの配布数	
散歩・ウォーキングで体を動かす人の割合(%)	31.9	35.0	39.0	不活動の人は、疾病の発症割合が高いことから、1日の歩く時間30分未満の不活動者の割合を目標年度には7ポイント増と設定する	日常生活における身体活動量の増やす具体的な方法として、最も安全で効果的な歩行を増加させることを指標とする	右記のアンケートの当該項目で該当した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくり市民意識調査
健康づくり関係者会議の開催数(回)	8	10	12	最終目標は、現状値を踏まえ4ポイントアップと設定とする	とよあけアクションプラン21において市民協働参画のワークショップ方式で策定を進めた。この経緯を踏まえて市民の自主的な発想を生かして、活動への意欲を高める	健康課成人事業実績報告から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績報告から抜粋
1日平均ウォーキング時間が30分未満の人の割合(%) (60～69歳)	35	33	31	一回30分以上の運動を週2回以上実施する運動習慣は健康増進に有効である。市の運動習慣者の現状は県より高い。高齢者においても身体活動を増やすために、歩行を中心とした身体活動量の増加が求められる。ただし、成人と同じ活動量では、負担が大きい。過去のデータがないため、事業介入効果(10%)として目標値を設定する	日常生活における身体活動量の増やす具体的な方法として、最も安全で効果的な歩行を増加させることを指標とする	右記調査の当該項目で該当した人の数÷アンケート回答者数×100	とよあけ健康基本計画21「生活習慣関連調査」
B型リハビリ教室の参加者数(人)	952	1,140	1,250	虚弱な高齢者の閉じこもり予助を目的として社会参加を促すひとつの事業としてB型リハビリの拡大を図る。目標年度には、延べ参加人数を1.3倍の目標値として設定。5地区サテライト型を想定する	虚弱高齢者が社会参加できない状況を表す指標	健康課成人事業実績報告から抜粋	平成16年度健康課成人事業実績報告から抜粋
高齢者でほとんど外出しない人の割合(%) (65歳以上)	3.9	3.0	2.0	B型リハビリ教室等の事業介入効果により2ポイントの減少を目標値とする	高齢者に外へ出る機会を生かすことにより、心身の健康にとって重要な要素にもなり得る	右記アンケートの当該項目で該当した人の数÷アンケート回答者数×100	平成16年度高齢者福祉課：介護に関するアンケート結果
ストレスをためないように心がける人の割合(%)	36.1	37.0	38.0	心の相談等事業の介入効果として目標年度2ポイント増加を設定する	ストレスを感じた中高年男性に高い傾向があった。健康課等あらゆる機会をとおしてストレスへの気づきや解消法を普及していくこととし、具体的な解消法等を示していく	右記のアンケートの当該項目で該当した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくり市民意識調査

歯周疾患にかかった人の割合(40歳対象)(%)	24.5	22.0	20.0	40歳以上を対象として進行した歯周炎(cplコード3以上)の現状値を事業により目標年度に4.5ポイント減少させる	40歳以上の成人歯科保健のレベルのひとととしての指標	歯周疾患患者×100	とよあけ健康アクションプラン21
8020推進運動の認知度(%)	47.8	55.0	60.0	8020運動が始まり12年経過した時点で概ね48%であることから目標年度では12ポイントを増加して目標値を設定する	歯科保健や健康に関する認知度の指標	右記調査の当該項目で該当した人の数÷アンケート回答者数×100	とよあけ健康基本計画21「生活習慣関連調査」

2-1-2「母子保健」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
母子保健サービスに対する満足度(%)	76.2	77.0	78.0				次世代育成支援行動計画を踏まえ、総合的な施策展開を行うことから、1ポイント程度平均で満足度を高めることを目標とする	市民全般の評価からみた母子サービス全般の充実状況を表す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・やや不満足・不満足・回答の人数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくり市民意識調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
妊婦健康診査受診率(%)	95.7	96.0	97.0				安心・安全な出産につながるためには妊娠中の健康管理が重要であることから1ポイント程度受診率アップを目標とする	妊娠中の健康状況を表す指標	妊婦健康診査受診者数÷健康手帳交付者数×100	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」
妊産婦歯科健康診査受診率(%)	6.6	10.0	15.0				妊産婦歯科保健対策は8020推進運動の出発点ともいえる意義は大きい。近隣市町の実施状況を参考にしながら2015年には現状の2倍以上の受診率を目指し、2010年はその中間値くらいを目標とする	妊産婦の健康状況を表す指標	妊産婦健康診査受診者数÷健康手帳交付者数×100	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」
パパママクラス受講率(%)	23.0	25.0	28.0				子育て支援の観点から一番身近にいる子育て支援者である父親の意識の向上と同様に親となることへの認識を向上させることは重要である。また子育てが孤立しないよう仲間づくりの機会となることから、さらなる受講率の向上を目指す。2015年まで2ポイント程度ずつの受講率を高めることを目標とする	父親の育児参加と親の心構えを向上させる指標	パパママ受講者数÷健康手帳交付者数×100	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」
子育てに関する父の考えで「夫婦で協力する」という回答者の割合(%)	87.8	89.0	90.0				男女共同参画と子育て支援という観点から父親の育児参加は不可欠である。2015年までに1ポイント程度ずつのアップを目標とする	子育てに対する考え方を表す指標	右記のアンケートの当該項目について、「夫婦で協力する」と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市子育てアンケート(豊明市次世代育成支援行動計画策定のための調査)
1歳6か月児健診受診率(%)	95.1	96.0	97.0				子育て支援と虐待予防の観点からさらなる受診率の向上を目指し、1ポイント程度ずつの受診率アップを目標とする	子育て支援と虐待予防の充実度を表す指標	1歳6か月児健診受診者数÷健康手帳交付者数×100	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」



3歳児健診で虫歯があるとされた子どもの割合 (%)	10.3	10.0	9.0	3歳児健診の虫歯罹患率の低下は6歳臼歯の存続、ひいては8020推進運動につながるもので、現在当市の3歳児う蝕罹患率は県下トップクラスにあるが、さらなる向上を目指し1ポイント程度ずつの減少を目標とする	幼児保健の歯科水準を指標	3歳児健診受診数×100	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」	赤ちゃん訪問実施率 (%)	58.4	60.0	65.0	子育て支援の出発点ともいえる事業で、育児不安や虐待予備群の早期発見と早期対応につながるから今後も実施率のアップを目標とする	子育て支援の充実度を表す指標	2015年に出生児数の約3分の2(65.0%)の訪問を目標とし、2010年はその中間位を想定	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」
救急車搬送された乳幼児の不慮の事故の件数(件)	47	40	30	子育てにおける子どもの安全の確保は必要不可欠であることから、事故予防対策の周知をはかり、事故件数を10件程度ずつ減少させることを目標とする	乳幼児安全策の報告率	不慮の事故の報告数	保健所で作成の「母子保健に関する統計」	住んでいる地域が子育てしやすいと感じている人の割合 (%)	77.3	78.0	79.0	子育てが孤立しないよう関係機関の連携、NPO等との協同体制、世代間交流事業の活性化などを図りながら、子育てしやすいと感じる人の割合を1ポイント程度ずつアップすることを目標とする	市民全般からの評価から子育ての満足度を表す指標	右記アンケートの当該項目に大変子育てしやすいと回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市子育てアンケート(豊明市次世代育成支援行動計画策定のための調査)
「ひまわりひろば」参加者数(組)	98	100	100	「ひまわりひろば」は子育て支援の自主グループ「ひまわりひろば」の企画運営による親支援事業であるが、今後も親支援と自主グループの育成支援の充実を目標とする	子育て支援の自主グループの活動状況を表す指標	《2004年》実績98人 《2005年~2010年》15人/回×6回/年=90人 《2011年~2015年》90人×6年間=540人 累計98人+540人=638人 約600人 《2011年~2015年》90人×5年間=450人 累計600人+450人=1050人 約1000人	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」	<b>2-1-3「感染症対策」</b>							
朝食を「家族と食べる」子の割合 (%)	89.0	90.0	91.0	心身の健康づくりは規則正しい生活と家族による食生活の充実が重要であることから1ポイント程度ずつのアップを目標とする	家族団欒の状況や食生活の充実度を表す指標	右記アンケートの当該項目において家族と食生活の充実度を表す人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市子育てアンケート(豊明市次世代育成支援行動計画策定のための調査)	各種個別化(種類)	5	6	7	集団で実施しているBCGとポリオのうち、現在でもワクチンが個別に対応可能なBCGをまず、個別に移行し、最終年度までにはポリオワクチンも個別に対応できる体制を整えたい	豊明市の予防接種の実態を表す指標	現在、市内指定医療機関に委託している予防接種の種類	現在の実績から抜粋
ヘルプサポーター養成事業参加者数(人)	22	25	25	食生活習慣の改善や健康とQOLの向上を目指す人たちが「ヘルプサポーター」の育成は、次世代を担う子どもたちが健全に育つための基本である。このことから今後もより多くの受講経験者を増やすことを目標とする	食生活習慣の改善や健康とQOLの向上を目指す事業を表す指標	《2004年》実績22人 《2005年~2010年》17人/年×6年=102人 累計22人+102人=124人 約120人 《2011年~2015年》17人/年×5年=85人 累計120人+85人=205人 約200人	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」	関係機関とのネットワークの確立(会議の開催)(回)	0	1	2	現在は、関係機関との定例の会議はなく、必要時に個々で対応しているが、今後は情報交換を含めた会議を2010年までには1回、最終年度までには、上半期1回、下半期1回の2回の会議を定例化して開催したい	豊明市の防災対策の充実を表す指標	現在は定例化されていないので実数	現在の実績から抜粋
思春期健康教育開催数(回)	1	2	3	次世代を担う子どもたちが自尊感情や自己肯定感を高めることは健全な大人になるための重要な体験である。2015年までに公立3中学校での思春期健康教育の開催を目標とする	思春期健康教育の充実度を表す指標	2004年に栄中学校に1校に開催。2015年までに公立3中学校にて開催	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」	犬の登録頭数(頭)	3,956	4,100	4,200	市内で飼育されている犬の頭数を示す数で、年々増加の傾向にある	犬の登録数を表す指標	現在登録(生中)されている実数	豊明市環境概況による数字
親のグループケア事業参加者数(人)	0	84	84	育児不安や虐待する恐れのある親を対象とした小集団の教室であるが、今後もこの事業を充実させ親の精神的安定を図りながら子育ての軌道修正の糸口を見出せるよう、より多くの親が参加できるようにすることを目指す	育児に悩む親への支援の充実度を表す指標	《2004年》未実施 《2005年~2010年》3.5人×6回×4クラス=84人 84人×6年間=504人 累計約450人 《2011年~2015年》84人×5年間=420人 累計450人+420人=870人 約800人	健康課で作成の活動のまとめ「とよあけの保健活動」	市内の医療サービスに対する満足度 (%)	74.7	75.0	76.0	「豊明市のまちづくり」を考えた市民意識調査を踏まえ、不満を解消し満足度を向上させることを目指す	市民が地域医療について考えることを示す指標	右記アンケートの当該項目について、満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
外国人向けパンフレット作成(種類)	2	7	10									保健センターで使用するチラシ・パンフレット等で必要頻度の高いものから順に翻訳してもらう	外国人が保健行政を示してくれる指標	5年ごとに5種類ほど増やしていく	平成16年度現在の翻訳文書数
基本成果指標	2004年	2010年	2015年	目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典								
単位施策の成果指標	2004年	2010年	2015年	目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典								

2-2-1「少子時代の子育て支援」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典				
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年								
保育サービス等の子育て環境に対する満足度(%)	71.7	75.0	78.0	次世代育成支援地域行動計画を踏まえ、総合的な施策展開を行なうことから、調査で得た満足度を5年間毎に1割程度の改善を図り、満足度を高めていく	市民全般からの評価からみた、子育て支援策の充実状況を表す指標	16年実施の市民意識調査から、14.1%の不満足度を改善目標と定め、現状値に上乗せした	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査	安全パトロール実施地区数(地区)	0	10	15	子どもの安全を望む声が多く、地域のボランティアによるパトロールを実施し、安全確保に努める	子どもの安全確保を指す指標	次世代行動計画
保育園・幼稚園の施設や運営内容に対する満足度(%)	71.1	76.0	80.0	施設改修は財政的に難しい状況の中で、施設面を運営面でカバーし、改善を図ることを目標とした	児童保護者の評価からみた、保育園や幼稚園の施設や運営内容に対する満足度を表す指標	平成15年実施の次世代育成地域行動計画「適園」の不足分を2割程度上乗せした	次世代育成支援地域行動計画ニース調査	障害児家庭のショートステイの利用箇所数(箇所)	0	1	1	障害のある子どもの療育とその親が安心して子育てするための支援として、ショートステイを民間委託で継続する	障害のある子どもとその親を指す指標	次世代行動計画
子育て講演会実施回数(回)	1	3	5					地域や家庭の教育力を高めるために実施する					親が学びたい分野の事業を指す指標	次世代行動計画
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典	乳幼児ふれあい体験事業数(事業)	0	5	7	小中高生が会の大切さや将来の子育てに感ずる希望や不安を感じようとする事業を実施する	次代の親準備の事業を指す指標	次世代行動計画
	2004年	2010年	2015年											
長時間延長保育の実施園数(園)	2	7	13	次世代行動計画の策定にあたり実施したニース調査により、仕事をもつ保護者から延長時間、時間の拡大を望む意見が多く、公・私保育園全国実施を目指す	保護者の家事と仕事を両立させる事業の充実を指す指標	ニース調査により「希望の時間」を重視した	次世代行動計画	臨時保育室設置事業数(事業)	0	20	30	託児サークルとの協働事業として、市の事業に限り、参加者無料の託児サービスを実施する	子育て中の保護者参加を促進する事業を指す指標	次世代行動計画
障害児保育実施園数(園)	10	12	12	次世代行動計画により障害児の待機解消を目標とし、一部の私立保育園を除き、実施する	障害児保育を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							
一時保育実施園数(リフレッシュ)(園)	0	2	8	保護者の求職やパート、病気、冠婚葬祭以外にも育児疲れやストレス解消を目的に、一時的に子どもを保育園で預かる事業を公立保育園で実施する	一時保育の要件緩和を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							
休日保育実施園数(園)	0	1	4	保護者の就労形態の多様化により日曜、祝日の保育ニーズが高まっているため、1園で実施し、ニース等の動向により4園実施を目指す	保護者の家事と仕事を両立させる事業の充実を指す指標	ニース調査により、登園日として、日・祝日が10%ある	次世代行動計画							
病後児保育実施園数(園)	0	1	2	病後回復期の児童を医師の協力を得ながら、保育園で預かる事業を民間委託で実施する	保護者の仕事と家庭の両立を支援する事業の充実を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							
子育て家庭訪問支援事業実施件数(件)	0	100	150	保健師や保育士、児童相談員等の連携により育児不安や発達不安等を抱える家庭に対し、育児指導や栄養指導等を実施する	子育て支援センターで実施している子育て相談の充実、拡大を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							
子育て支援センター設置箇所数(箇所)	1	2	3	就園前の幼児とその保護者が利用する施設として大いに活用されているが、利用者が一部の地域に偏る傾向にあり、保育園併設や空き店舗活用等の方法で、複数化を目指す	中学校区に1か所の設置を目標とする	次世代行動計画	次世代行動計画							
子育てに関する協働事業数(件)	1	2	3	託児グループや子育てサークル等の市民ボランティアと協働事業を実施する	地域の保育資源の活用を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							
子どもの居場所づくり実施箇所数(箇所)	0	1	1	小中高生が学校以外で遊び、活躍できる場の整備をする	子どもたちが暮らしやすい環境整備を指す指標	次世代行動計画	次世代行動計画							

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典					
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年									
高齢者福祉サービスに対する満足度(%)	68.4	72.0	75.0	老人保健福祉計画を踏まえ、総合的な政策展開を行うことから、毎年1ポイント程度平均で満足度を高め、大半の市民から満足が得られるよう目標値を設定	市民全般からみた高齢者福祉サービスの充実状況を指す指標	右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・やや不満足・不満足に回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査								
単位施策の成果指標	現状値	目標値		目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典	週2日以上外出する高齢者の割合(%)	84.4	87.5	90.0	高齢者の閉じこもり防止策や社会参加、健康づくり施策を展開することにより、毎年0.5ポイント程度割合が伸びるように目標値を設定	65歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標	右記アンケートの当該項目について、毎日外出、週に2~3回と回答したパーセント	豊明市介護保険事業計画等のための調査報告書
	2004年	2010年	2015年												
老人クラブ加入率(%)	31.9	32.5	33.0	老人クラブの地域での社会参加や役割を検討し、高齢者層の若年世代の加入者が毎年0.5ポイント伸びるように目標値を設定	60歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標	老人クラブ加入者数÷60歳以上人口×100	高齢者福祉課調べ								
シルバー人材センター登録者数(人)	414	530	630	高齢者の社会参加や役割を検討し登録者を毎年20人伸ばすように目標値を設定	60歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標		高齢者福祉課調べ								
福祉デイサービス利用者数の割合(%)	15.3	12.5	10.0	福祉デイサービスを充実させることにより、介護予防の効果や要支援要介護認定の移行率の目標値を2015年までに10パーセントとする設定	65歳以上の介護予防の事業の充実状況を指す指標	1年間に介護予防の事業に参加した介護認定者÷生活支援参加者数×100	高齢者福祉課調べ								
介護保険サービス受給率(介護保険認定者数に占める介護サービス利用者の割合)(%)	73.6	76.0	78.5	介護保険サービスの利用に対する啓発に努め、正しいサービス利用率を毎年0.5ポイント伸びるように目標値を設定	介護保険サービスの充実状況を指す指標		高齢者福祉課調べ								

2-2-2「高齢者福祉」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典		
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年						
週2日以上外出する高齢者の割合(%)	84.4	87.5	90.0	高齢者の閉じこもり防止策や社会参加、健康づくり施策を展開することにより、毎年0.5ポイント程度割合が伸びるように目標値を設定	65歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標	右記アンケートの当該項目について、毎日外出、週に2~3回と回答したパーセント	豊明市介護保険事業計画等のための調査報告書					
老人クラブ加入率(%)	31.9	32.5	33.0	老人クラブの地域での社会参加や役割を検討し、高齢者層の若年世代の加入者が毎年0.5ポイント伸びるように目標値を設定	60歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標	老人クラブ加入者数÷60歳以上人口×100	高齢者福祉課調べ					
シルバー人材センター登録者数(人)	414	530	630	高齢者の社会参加や役割を検討し登録者を毎年20人伸ばすように目標値を設定	60歳以上の市民の社会参加、生きがいの状況を指す指標		高齢者福祉課調べ					
福祉デイサービス利用者数の割合(%)	15.3	12.5	10.0	福祉デイサービスを充実させることにより、介護予防の効果や要支援要介護認定の移行率の目標値を2015年までに10パーセントとする設定	65歳以上の介護予防の事業の充実状況を指す指標	1年間に介護予防の事業に参加した介護認定者÷生活支援参加者数×100	高齢者福祉課調べ					
介護保険サービス受給率(介護保険認定者数に占める介護サービス利用者の割合)(%)	73.6	76.0	78.5	介護保険サービスの利用に対する啓発に努め、正しいサービス利用率を毎年0.5ポイント伸びるように目標値を設定	介護保険サービスの充実状況を指す指標		高齢者福祉課調べ					

2-2-4「地域福祉」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
地域密着型サービス施設の設置箇所数(箇所)	0	3	6				地域ケアの充実策を展開し、在宅サービスの施設を5箇所設置することを目標値に設定	介護保険サービスの充実状況を表す指標		社会福祉協議会統計資料
地域包括支援センターの設置箇所数(箇所)	0	1	3				地域ケア体制の中核となる組織を人口2.5万人に1か所設置することを目標値に設定	介護保険サービスの充実状況を表す指標		社会福祉協議会統計資料
認定結果通知が31日以上経過した割合(%)	43.0	25.5	10.0				認定申請から認定結果通知の迅速化に努力し訪問調査を早期に行うことはもとより主治医の意見書の早期取得のため医療機関への働きかけを進め、目標値を2015年までに10パーセントとする設定	介護保険事務の迅速性の状況を表す指標	1年間で認定結果通知が31日以上かかった件数÷通知件数×100	高年齢者福祉課調べ
介護保険サービスに対する満足度(%)	84.6	87.5	90.0				介護保険事業計画を踏まえ総合的な政策展開を行うことから毎年0.5ポイント程度平均で満足度を高め在宅の要介護者から満足が得られるよう目標値を設定	介護保険サービスの充実状況を表す指標	右記アンケートの当該項目について満足しているが納得できない点もあると回答したパーセント	豊明市介護保険事業計画等策定のための調査報告書
介護住宅改修費給付件数(件)	160	180	200				介護保険の住宅に関する施策で毎年15人平均で利用者が伸びるように目標値を設定	介護保険サービスの充実状況を表す指標		高年齢者福祉課調べ

2-3-1「福祉医療」

2-2-3「障害者・障害児福祉」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
生活・自立支援などの障害者(児)福祉に対する満足度(%)	70.3	75.0	80.0				障害者福祉計画等を踏まえ総合的な福祉施策展開を行うことから毎年1ポイント程度平均で満足度を高め、目標年度には、大半の市民から満足が得られるよう目標値を設定	市民全般的な福祉に対する満足度を表す指標	右記のアンケートの当該項目について満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
グループホームの整備数(箇所)	3	5	7				知的障害者グループホームの2003年県平均設置数が2箇所なので、その倍増を目標値とした	障害者がグループホームで生活するのはなく、地域の人々とともに暮らしている状況を表す指標	2003年県平均設置数2箇所/市×2	精神障害者地域生活支援事業「なつどう」知的障害者地域生活支援事業「生活ホーム2村台」
知的障害者通所施設の整備(箇所)	2	2	3				就労、日常生活訓練を行う通所施設の整備を促進することで、知的障害者の自立生活を援助できるようにすることを目標値とした	地域社会で生活する障害者の社会参加のためのフォローアップ体制を示す指標	障害者通所施設1箇所の整備	知的障害者通所施設「メイツ」「フレんズ」
障害者団体の加入者数(人)	263	330	400				悩み等を相談したり、他の障害者等と交流を図ることで、より充実した社会生活ができるよう、福祉団体に加入することを目標値とした	社会福祉団体が社会福祉の向上に及ぼす推進の多寡等を表す指標	①12年度(1,584人)と16年度の障害者手帳所持者の伸び率を出して、その伸び率(16.98%)で5年ごとの障害者手帳所持者を推計した。②①で推計した障害者数を基に出現率を推計する。③14年度～16年度障害者加入者の平均加入率(15.6%)×各障害者手帳所持者	豊明市中心(児)福祉団体連合会会員数

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
医療費の助成に対する満足度(%)	73.3	78.3	83.3				税制度等の改正により助成等が制限されることや、時代の要請に応じた新たな分野への助成を拡大することから、毎年1ポイント程度の向上を目指して目標値を設定	市民全般からの医療費の助成の実施状況を表す指標	右記アンケートの当該項目について満足・やや満足・普通と回答した人数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
医療費助成受給者数(人)	11,878	13,800	14,600				現状の医療制度を継続・維持しつつ、新たな制度を実施し、受給者数の増大を目指して目標値を設定	医療制度による医療費の助成等を受けている受給者数の状況を表す指標	現状の受給者数に新たな制度による増加する受給者数を加える	医療費実績報告人口集計表
福祉給付金受給者数(人)	955	750	770				現状の受給者から税制改正による受給者の見直しを行い、新たな対象年齢の拡大による増加を見込み目標値を設定	医療費の助成を受けている受給者数の状況を表す指標	現況の非課税・単独居等の老人一人一人の年齢による非課税老人数	医療費実績報告人口集計表所得証明
乳幼児(児童・生徒)医療受給者数(人)	4,294	10,600	10,800				現状を継続・維持しつつ、小学校終了児童までに助成を拡大することを目標値を設定	医療費の助成を受けている受給者数の状況を表す指標	現況10歳未満児童・小学生の人数	医療費実績報告人口集計表
不妊治療助成件数(件)	—	20	30				新たな医療制度の実施のため先進都市の助成を目標値として設定	医療費の助成を受けている件数を表す指標	先進都市の実績を人口比で換算	人口集計表
健康づくり組織の数(団体)と会員数(人)	—	5団体 100人	10団体 200人				既設の老人クラブ等に活動メニューとして加えていただき、毎年1団体20人の会員が増加することを目標値を設定	健康づくりの活動を行っている団体数とその会員数を健康づくりの状況を表す指標	毎年1団体会員20人を加算	老人クラブ名簿

3-1-1「道路」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
地域でのビデオの放映回数(回)	—	12	12				地域の老人クラブ等の会合時に、ビデオ等の映像による制度の説明を、月に1回程度実施することを目標として目標値を設定	制度の周知の状況を表す指標	月1回程度実施	
ケーブルテレビでの放映回数(回)	—	12	12				ケーブルテレビによる制度の放映を、月に1回程度実施することを目標として目標値を設定	制度の周知の状況を表す指標	月1回程度実施	

2-3-2「生活弱者の自立に向けた支援」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
生活保護率(人口1,000人当たりの生活保護者数)	3.29	3.90	4.40				景気の動向に推移して目標値を設定	景気が低迷している状況及び高齢者等の増加による保護を表す指数	被保護者数÷人口	愛知県保護率速報による
民生児童委員による生活相談・生活指導件数(件)	2,614	2,800	3,000				景気の動向に推移して目標値を設定	景気が低迷している状況及び高齢者等の増加による保護を表す指数	活動記録票の集計	民生・児童委員活動記録票

2-3-3「国民健康保険」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
国民健康保険加入者一人当たりの年間医療費(円)	320,367	317,000	314,000				医療費の動向が事業運営を左右するため、一人当たり医療費を5年で1%削減するよう目標値を設定した	被保険者の適正な医療費を表す指標	年間医療費÷被保険者数	平成16年度決算資料
国民健康保険税収納率(%)	93.18	93.18	93.18				収入を安定確保するため平成16年度収納率の実績を目標値とした	保険料の確保割合を表す指標	収入額÷調停額×100	平成16年度決算資料
出張健康相談回数(回)	0	12	18				健康不安を解消することで医療費削減に繋げるため、各地域へ年1回の健康相談を目標値に設定した	相談回数を健康の充実指標とした	出張相談回数	
在宅療養者への訪問指導回数(回)	1,400	1,700	2,000				病気にかかった方の再発予防への訪問指導が重要で、医療費の抑制効果もあるため、延べ指導回数を目標値に設定した	訪問指導の充実度を表す指標とした	訪問指導回数を集計	平成16年度の訪問実績
健康増進団体数(団体)	11	15	21				健康づくり活動を定着させるため健康増進事業を実施する団体数を目標値に設定した	健康維持に積極的に取り組む団体数を指標とした	団体加入者の簡易健康度評価の初年度と3年目の平均値比較	平成16年度の認定団体数
健康増進団体加入者数(人)	200	300	420				健康づくり活動を定着させるため健康増進事業に参加する人数を目標値に設定した	健康維持に積極的に取り組む団体の参加人数を指標とした	団体加入者の簡易健康度評価の初年度と3年目の数値比較	平成16年度の認定団体加入者数
保険教室の参加者数(人)	0	120	180				国保資格及び保険給付等の制度理解のため、聞く説明会の回数及びその参加人数を目標値とした	国保制度の認知度充実の指標とした	参加人数÷開催回数	
保険相談の参加者数(人)	0	60	84				被保険者の困りごと解決のため相談コーナーを開設し、その回数及び参加人数を目標値とした	困りごと相談での対応	参加人数÷開催回数	

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
自動車での移動が便利な道路網に対する満足度(%)	74.8	76.0	78.0				国道・県道の主要幹線道路への接続と駅までの移動が便利な道路網を整備するため、市民から得られる満足度を目標値に設定	既設都市計画道路の整備と、都市計画道路の整備を指す	市民アンケート項目について、満足・やや満足・普通と回答した市の計画道路の割合を算出	市民アンケートと都市計画道路現況表

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
都市計画道路整備率(%)	81.2	83.0	84.0				都市計画道路及び南部・北部地域の土地利用計画に基づき目標値を設定	名古屋都市計画(市施工)の整備率を表す指標	都市計画道路延長(市)÷都市計画道路延長(市+市外)×100	都市計画道路現況表
歩道透水性舗装整備率(%)	5.6	7.0	8.0				降雨時の路水溜り、歩道の滑りを防止するため、新設歩道を透水性舗装とし歩行者の満足度が得られるよう目標値を設定	歩道の透水性舗装率を表す指標	平成16年度までの歩道透水性舗装延長と都市計画道路の延長を比較した比率	平成16年度までの歩道透水性舗装延長と都市計画道路の延長を比較した比率
危険箇所発見通報件数(件)	1,321	900	800				危険箇所通報件数は、毎年増加していたが、平成17年度は単独作業を1年間の委託にすることで通報件数が軽減できたため、市民から満足が得られるよう目標値を設定した	平成16年度と平成17年度の通報率を比較する指標と道路パトロール数を表す指標	平成16年度と平成17年度の通報率を比較する指標と道路パトロール数を表す指標	危険箇所発見通報現況表

3-1-2「交通対策」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
鉄道の利便性(%)	68.3	70.0	75.0				成果指標設定時における単独満足度の内訳のうち、「やや不満」は15.8%、「不満」は10.7%である。今後の施策展開によって不満の領域を5%未満に減少させ、満足領域に転じていくことを目標に定めて指標値を設定した	鉄道を右記のアンケートの当該項目に満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケートの回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査	
路線バスの利便性に対する満足度(%)	48.6	50.0	50.0				ダイヤ改正により利用者の満足度の現状維持	利用者から運行状況の充実状況を表す指標	右記のアンケートの当該項目について、とてもよいと回答した人の数÷アンケート回答者数×100	市民意識調査
ひまわりバス利便性に対する満足度(%)	57.1	60.0	75.0				市民の要望を公共バス検討委員会に語り経路及びダイヤ改正と最終年度において路線数を増やすことにより利用者の満足度を高めることを努力目標とした	利用者から運行状況の充実状況を表す指標	右記のアンケートの当該項目について、とてもよいと回答した人の数÷アンケート回答者数×100	公共施設巡回バス利用状況調査報告書OD調査及びアンケート調査結果
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
ひまわりバス路線数(路線)	4	4	6				市民の要望を公共バス検討委員会に語り最終年度において路線数を増やすことを目標とした			

3-3-1「農業」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
ひまわりバス利用者数(人)	140,929	150,000	200,000				市民の要望を公共バス検討委員会に諮り経路及びダイヤ改正と最終年度において路線数を増やすことを目標とした	年間乗降客数を表す指標	右記の該当項目調査結果	公共施設巡回バス利用状況調査報告書
主要3駅における可能駐輪台数(台)	3,070	3,100	3,600				放置自転車等を減少させながら公共交通利用を高めるため、駐輪場の整備計画を推進することを目標として設定	主要3駅における可能駐輪台数を表す指標	整備計画可能台数	防災安全課による主要3駅駐輪場整備計画
主要3駅における放置自転車台数(台)	747	715	700				成果指標設定時点では、毎年700から800台の撤去で推移しているが、駐輪場の計画的な整備と、効果的な施設運営を進めることで、自転車の放置を抑制することを成果と定める。自転車の利用率の増加想定の中なかでも、撤去に至る放置台数(撤去台数)の増加を鈍化させることを目標と定めた	年間に撤去する放置自転車の数で、純増加率を算出	撤去抑制率の増加率を算出	防災安全課による放置自転車数調べ
駅前広場整備箇所数(箇所)	4	4	5				市内3駅のうち唯一豊明駅前広場が未整備であるので、整備目標値を設定	駅前広場整備箇所数を表す指標		

  

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
農地流動化利用集積面積(水田)(ha)	35.1	50	100				豊明市経営基盤強化の促進に関する法的な構想に平成22年度に修正されるため、概ねの計画数字を算出した	担い手農家の利用面積の指標	現行の認定農業者19農家を5年で21農家10年で24農家、1法人とする認定農業者が各10ha・法人が20ha集積するとした数値	平成15年度農地流動化実績
農業生産法人数(件)	1	2	2				あいち尾東農業協同組合の事業計画より算出した	農業生産法人の指標	現行の若手オペレーターを法人化するとした数値	農業生産法人実態調査
産直所の設置箇所数(箇所)	2	3	4				あいち尾東農業協同組合の豊明市内の支店に産直所を併設して算出した	市内農協支店への指標	現行2店舗を5年ごとに1店舗増やすとした数値	現行の豊明市内の店舗数
市民菜園の区画数(区画)	156	180	200				市民菜園への市民からの要望の増加による市民菜園の増やす能力より算出した	市民菜園への指標	5年ごとに1箇所20~25区画増やすとした数値	現行の設置区画数
ほ場整備面積(ha)	790.1	822.5	826.7				今後、完成予定の土地改良区2箇所の面積から算出した	ほ場整備完了の指標	愛知用水土地区画改良地区の面積32.4ha、切山西地区土地改良の面積4.2haが完了した数値	現在のほ場整備事業の面積

3-2-1「市街地整備・住環境整備」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
居住環境に対する満足度(%)	64.3	66.0	68.0				市街化区域内の宅地化農地や、低未利用地など基盤整備区域を中心に面的整備を推進して良好な宅地供給状況を誘導する。また、面的整備を推進する際には、美しい街並みや、生活空間の創出に配慮して住んでよかったと感じられるようなまちづくりを展開する	住宅と街づくりに関する市民意識調査満足度「居住環境の評価」を表す指標	右記のアンケートの該当項目について、満足と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市住宅マスタープランを策定するための基礎資料のためのアンケート
地区計画の設定されている地域数(地域)	3	4	5				地区の特性に応じて住民の総意を反映した総合的な土地利用計画を進め、地区を単位として建築又は開発行為を誘導・規制する都市計画の手法であり、地区数を増やすことを目標とした	きめの細かいまちづくりを実現するための指標		豊明市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例
宅地面積(ha)	669	694	707				都市マスタープランを見据え、土地に関する統計年報の最近5年間の伸び率を考慮して、宅地における市民の満足度を高められるよう設定した。この先10年、15年の伸び率としては、さらにじり質となることが予想される	「住みつけたい」になるための基本的根拠を示す数値として位置付けられる	土地に関する統計年報の最近5年間の伸び率を考慮し、2010年または毎年4.15haの伸び、その後の5年間は毎年2.6haの伸びとした	愛知県土地に関する統計年報。愛知ホームページにおける同上年度版、平成15年度版、平成16年度版

3-3-2「工業」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
従業者数(人)	5,712	5,750	5,800				優良企業の誘致に努め、雇用の促進による目標値を設定	工業の発展状況を表す指標	右記資料の数値	工業統計調査
製造品出荷額(百万円)	134,212	135,000	136,000				優良企業の誘致に努め、工業の発展状況を表す指標	工業の発展状況を表す指標	右記資料の数値	工業統計調査
事業所数(新規事業所)	6(2001年)	14	24				優良企業の誘致に努め、進出企業の目標値を設定	工業団地立地企業数		
研究会の参加企業数(社)	33	35	35				従来の下請け加工型から高付加価値な技術・製品を持つ企画開発型の企業に变身していくため、研究開発への意欲を持つ企業数を設定した	研究開発への意欲を持つ企業数を表す指標		

3-3-3「商業」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
商店数(店)	517	530	530				商工会発展のために会員となる商店の加入促進を図ることを目標とした	商業活性化を商工会の加入状況から表す指標	右記資料の数値	商業統計調査
年間商品販売額(百万円)	163,099(速報値)	157,620	165,501				商業発展のため、商品の販売を促進し販売額を増やすことを目標とした	商業の発展状況を表す指標	右記資料の数値	商業統計調査
発展会会員数(人)	247	250	250				商店街発展のために発展会会員の加入促進を図ることを目標とした	商店街の発展状況を表す指標	右記資料の数値	発展会会員名簿

商工業振興資金信用保証料助成件数(件)	138	140	140	個店経営の支援のため、商工業振興資金信用保証料の助成維持を目標とした。	個店経営の支援状況を表す指標	右記資料の数値	交付決定件数の集計表
買い物の便利さに対する満足度(%)	66.6	67.0	68.0	購買者の多くが満足を得られる利便性が向上するよう目標値を設定した。	商業立地の充実度を表す指標	右記アンケートの満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査

3-3-4「観光」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
観光客数(人)	435,000	441,000	445,000				豊明まつり(春・夏・秋)、桶狭間古戦場まつり、とよあけマラソン等の主要イベントの開催と新たに観光ルートを作り目標値に設定した。	市内全般のまつり及びイベントの実施状況を表す指標	右記調査票の数	観光資源・施設利用者数調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
桶狭間古戦場まつりの観客数(人)	25,000	30,000	30,000							
観光ルート利用者数(人)	—	1,500	1,500				新規に観光ルート作りをし、目標値に設定した。	利用状況を表す指標		

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
公民館利用件数(件)	2,286	2,450	2,600				公民館サークル、市外利用者等が活動の場として利用してもらえる件数を5年間で7%程度高め、2015年までには合計14%程度利用件数を高める目標値を設定。	施設を継続的に利用してもらうことを表す指標		平成16年度公民館利用実績
生涯学習に取り組んでいる市民の割合(%)	38.3	44.0	50.0				誰もが、いつでも、自由に自らが生涯にわたって学ぶことができるよう、市民の意識を5年間で5.7ポイント程度満足度を高め、2015年までには合計11.7ポイント市民から満足が得られるよう目標値を設定。	生涯学習活動の定期的に行う人を表した指標	右記のアンケート調査による	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
生涯学習の講座・教室の参加者の割合(%)	30.9	35.0	40.0				市民が望む講座のメニューを充実させることにより、5年間で4ポイント高め、2015年までには合計9ポイント程度満足度を高めることを努力目標として設定した。	公民館などが行った講座・教室に参加する人	右記のアンケート調査による	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査

3-4-1「消費生活」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
消費生活講座参加者数(人)	106	200	300				多発する消費者トラブルを予防するため、時々の問題をとり上げ賢い消費者の育成を図る講座の参加者数を目標値として設定した。	消費生活講座の参加状況を表す指標	右記のとおり	消費生活講座受講者数

4-1-2「文化・芸術活動」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
文化施設の数や設備に対する満足度(%)	66.0	70.0	75.0				施設建設は当面実施しないので、既存施設の改修を中心に行い、利用しやすい施設として、満足度を高めていくよう努力をし目標値を設定。	市民の評価から、文化施設を満足度を表す指標	右記アンケート調査項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
市民による芸術文化活動に対する満足度(%)	71.9	75.0	80.0				市民ニーズを的確に捉えたなかで、参加型文化活動を中心に行い、満足度を高めていくよう努力し、目標値を設定。	芸術文化活動された方々から満足度を表す指標	右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査

3-4-2「勤労者」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市内従業者数(人)	25,126(2001年)	25,500	26,000				優良企業の誘致に努め、関連企業等の雇用の促進による目標値を設定した。	雇用状況を表す指標	右記資料の数値	事業所・企業統計調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
相談件数(件)	6	12	18							

4-1-1「生涯学習の推進」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
生涯学習施設の数や設備に対する満足度(%)	66.9	71.0	76.0				生涯学習施設の設備投資を行わないため、運営面でカバーし、5年間で4ポイント程度満足度を高め、2015年までには合計9ポイント市民から満足が得られるよう目標値を設定。	市民のニーズに反映されるよう施設の運営を表した指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
生涯学習講座のメニューや数に対する満足度(%)	67.6	73.0	77.0				講座のメニューの充実、開催回数を増やすことにより、5年間で5.4ポイント程度満足度を高め、2015年までには合計9.4ポイント市民から満足が得られるよう目標値を設定。	市民のニーズに反映されるようメニューの充実を表した指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査
生涯学習の情報提供量・種類に対する満足度(%)	64.4	70.0	74.0				情報誌の発行、広報及び、ホームページ掲載により情報を提供できることにより、5年間で5.6ポイント程度満足度を高め、2015年までには合計9.6ポイント市民から満足が得られるよう目標値を設定。	「学び」のきっかけとして充実した人生を継続的に提供することを表す指標	右記のアンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人の数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市民フェスティバル入場者数(人)	1,200	1,500	1,800				吹奏楽、音楽、演劇の3部門の入場者数を、将来的に会場を満席にするようPRに努めることを目標に、毎年の増員を図ることで目標値を設定。	市民フェスティバルへの入場者数の増	市民フェスティバルへの入場者数	市民フェスティバルへの入場者数一覧表
文化ボランティア人数(人)	0	30	50				文化活動の立案から運営までを市民の代表として携わって頂くことを中心とした組織の立ち上げと、参加ボランティアの人数を増加することによって、市民ニーズに高じた文化活動の充実を図ることを目標とした。	ボランティア人数の増加	ボランティア人数	
チケット販売率(%)	74.3	80.0	85.0				自主事業を中心とした、各催し物のチケット販売枚数の増加に努めることを目標とした。	チケット販売率の増加	チケット販売枚数÷チケット販売可能枚数×100	チケット販売枚数一覧表
文化協会加入会員数(人)	1,893	2,000	2,200				文化協会の自立及び法人化に向けての努力を行うとともに、会員数を増加することを目標値に設定。	会員数の増加	会員数	

文化協会賛助会員数(人)	180	200	220	文化協会の自立及び法人化に向けての努力を行うとともに、賛助会員数を増加することを目標値に設定	賛助会員数の増加	賛助会員数	
茶室「樺庵」利用者数(人)	576	640	700	呈茶及び専用利用数を増加することを目標値に設定	呈茶及び専用利用数の増加	呈茶及び専用利用数	

4-1-3「文化財の保護」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
文化財関係講座の参加者数(人)	150	200	300	文化財の分野が、トレンド的に人々の関心を引き付ける性格のものではないため急激な増加を想定するのは不適切である。郷土の文化として自然な形で人々の心の中に育つことを目標とし、永い時間と地道な努力によって人々の心に根強く残るものとしなければならない。将来的には、講座の学習者がやがては指導者へと発展して行くことを目標とし、リピーターを中心に少しずつ関心の輪が広がって行くことを想定したものである	文化財関係講座の参加者数	実績数 ・2004年実績 30人×5回 ・2010年目標値 20人×10回 ・2015年目標値 20人×15回			実績数	
歴史民俗資料室年間見学者数(人)	590	650	700	ほとんどの民具が一般的、普遍的なものであるため、常設展については、展示物の入れ換えによって大きく模様換えすることはできない。したがってリピーターの要件としては、年毎にテーマを変えて開催している特別展が中心となる。特別展の企画は、文化財保護委員会を中心として組織された歴史民俗調査研究会に委託しているが、担当職員として学芸員が配置されている市町と比較して専門的な知識が不足しているのが課題であり、発案や実行に苦心しながら進めている状態である。また、歴史民俗の分野は、刺激のかつ強烈に見学者の関心を引き付ける性格のものではなく、郷土の文化として懐古的情緒を呼び起こすという地道な性格のものであるため、一般公開の見学者については、現状維持程度が目標となる。目標値の増加要因として、社会見学者など小中学校の学習課題としての活用を想定した	歴史民俗資料室の見学者数	2004年実績 ①一般公開見学者数 283人 ②社会見学者等による公開時の見学者数 307人 2010年目標値 ①一般公開見学者数 300人 ②社会見学者等による公開時の見学者数 350人 2015年目標値 ①一般公開見学者数 300人 ②社会見学者等による公開時の見学者数 400人 ①+②			実績数	

4-1-4「図書館」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
図書館の設備や蔵書数に対する満足度(%)	70.0	75.0	80.0	毎年少しずつ満足度を高める努力をし、各目標年度には、満足していた数÷総数×100	図書館設備の充実状況や蔵書数の満足状況を表す指標	図書館設備の充実状況や蔵書数の満足状況を表す指標	アンケート項目について満足と回答した数÷総数×100		図書館利用者アンケート(H15年8月実施)	
蔵書・資料数(冊)	240,000	280,000	320,000	人口及び図書館規模に合った指数的平均を上まわっているが、より高めるよう設定した	図書館の蔵書の総計を表す指標	人口及び図書館規模に合った指数的平均を上まわっているが、より高めるよう設定した	現在の蔵書数に年間増加冊数を推測して加算した数		図書館年鑑2004	
市民一人当たりの貸し出し冊数(冊)	6.0	8.0	10.0	人口及び図書館規模に合った指数的平均を上まわっているが、より高めるよう設定した	市民一人当たりの年間貸出冊数	人口及び図書館規模に合った指数的平均を上まわっているが、より高めるよう設定した	現在の年間貸出冊数に推測して加算した数		図書館年鑑2004	
図書館ボランティア数(人)	50	70	80	図書館サービスをより向上させるため、ボランティアを拡大していくよう設定した	ボランティアの拡大を図る	図書館サービスをより向上させるため、ボランティアを拡大していくよう設定した	現在の人の数に推測して加算した数		豊明市図書館資料	

4-1-5「青少年健全育成」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
青少年の健全育成に対する満足度(%)	68.2	75.0	80.0	当市は、他市と違い26地区(全市)に青少年健全育成委員会を有し、地区それぞれ工夫を凝らし、また青少年健全育成推進員会議を考案、地区委員長連絡会に諮り決定、全市同時に同じ活動を実施している。市民の協力を得て、満足度を5年間で5ポイント高めることを目標に設定した	市民全般が青少年健全育成の地域活動と青少年健全育成の地域生活を送っていることを表す指標	当市は、他市と違い26地区(全市)に青少年健全育成委員会を有し、地区それぞれ工夫を凝らし、また青少年健全育成推進員会議を考案、地区委員長連絡会に諮り決定、全市同時に同じ活動を実施している。市民の協力を得て、満足度を5年間で5ポイント高めることを目標に設定した	右記のアンケートの該当項目について、満足・やや満足・回答した人の数÷アンケート回答者数×100		豊明市のまちづくりを考える市民意識調査	
地域活動への青少年の参加者数(人)	30	100	130	青少年の地域との繋がりは、大変希薄になっている。まずは、中学生を地域活動に参加してもらおうよう促し、少年の頃より地域に密着した活動に参加することにより、自らが地域の一員としての自覚を持って活動できる青少年の数を目標値として設定	大人と青少年が協力して住みよくなり進んでいる状況を表す指標	青少年の地域との繋がりは、大変希薄になっている。まずは、中学生を地域活動に参加してもらおうよう促し、少年の頃より地域に密着した活動に参加することにより、自らが地域の一員としての自覚を持って活動できる青少年の数を目標値として設定	2004年3区×10人 2010年20区×5人 2015年26区×5人		生涯学習課調べ	
家庭教育学級在籍学級生(人)	364	380	390	家庭での教育力の低下が、私立幼稚園・小学校・中学校に通っている子どもを保護者対象に家庭教育学級を開設、一年毎に学級生を募集、子育て・仲間づくりをテーマに講座等を実施、多くのの方々に参加して頂き家庭教育の大切さを理解して頂くため参加者数を目標として設定	子育て支援の観点から家庭教育力を高めるため支援状況の充実を表す指標	家庭での教育力の低下が、私立幼稚園・小学校・中学校に通っている子どもを保護者対象に家庭教育学級を開設、一年毎に学級生を募集、子育て・仲間づくりをテーマに講座等を実施、多くのの方々に参加して頂き家庭教育の大切さを理解して頂くため参加者数を目標として設定	2005年369人		生涯学習課調べ	

4-2-1「生涯スポーツ・スポーツ振興」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
スポーツ施設の数や設備に対する満足度(%)	55.6	59.0	61.0	増設・改修等の予算確保が困難な状況にあるため、現状維持に近い目標値を設定	市民からみたスポーツ施設に対する満足度を表わす指標		豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
市主催のスポーツ教室等の数に対する満足度(%)	66.9	70.0	72.0	教室数・受講者数を減少させても、内容の充実・指導員の資質向上等を図ることにより、現状維持に近い目標値を設定	市民からみたスポーツ教室等に対する満足度を表わす指標		豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年					
市営体育施設(屋内施設及び屋外施設)の利用者数(人)	258,593	262,000	265,000	施設の拡張・充実等の経費のかかることは困難な状況にあるため、現状維持に近い目標値を設定	体育施設全体の年間延べ利用者数を表わす指標	$2010 = 2004 \times 1.014$ $2015 = 2004 \times 1.025$	平成16年度実績			平成16年度実績
とよあけマラソン参加者数(人)	3,931	4,000	4,000	会場・経費などの問題により、参加者の増員は望めないもので現状維持を図ることを目標とした	とよあけマラソンの参加者数を表わす指標		平成16年度実績			平成16年度実績
スポーツクラブ指導者登録者数(人)	230	240	250	スポーツクラブ員の大幅な増員は見込めないもので、指導者についても現状維持に近い目標値を設定	スポーツクラブの指導者数を表わす指標		平成16年度実績			平成16年度実績

4-3-1「義務教育」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
小中学校における教育内容に対する満足度(%)	70.4	75.0	80.0	目指す学校像に①児童生徒が通いたくなる学校 ②保護者、地域が通わせたい学校 ③教職員が勤めたい学校 授業改革 小中連携教育 国語力向上 不登校対策 学校評価を推進して満足度の向上を図る	市民全般から見た義務教育の内容に満足していることを表す指標		豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
学校・地域・家庭のコミュニケーションに対する満足度(%)	70.7	75.0	80.0	市民全般から見た学校・地域の連携が図られていることを表す指標	市民全般から見た学校・地域の連携が図られていることを表す指標		豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年					
教職員研修の講座数(延べ日数)(日)	93	99	100	従来の研修内容の充実を図る。実務数は児童生徒に対する指導等の充実を図るために急増はしない	教員数は、児童生徒数の増加に伴い増減の予定。全教職員が各自の役割・目標に応じて研修する		豊明市立小中学校における文化的活動に供する施設の開放規則			豊明市立小中学校における文化的活動に供する施設の開放規則
教職員研修の参加者総人数(人)	2,700	2,800	2,900							
学校開放の実施校数(屋内及び運動場を除く)(校)	7	9	12							
共同調理場のドライ化率(%)	20	50	100	ドライ化に向けた機械・器具の導入や施設の改善・改装及び作業の取り組みなどを含めた衛生管理システムの推進を目標とした	安全かつ安心な学食の充実状況を表す指標					

5-1-1「情報の共有」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
広報などによる市の情報提供・情報公開に対する満足度(%)	79.1	80.0	82.0	市の行う諸事業を、広報などで迅速・的確に数多く情報提供することにより、住民から満足を得られる	市民全般の評判からみた広報などによる情報提供・情報公開に対する満足度を表す指標		市民全般の評判からみた当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人数をアンケート回答者数×100			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
市役所のホームページの内容やデザインに対する満足度(%)	76.7	78.0	80.0	ホームページが持つ即時性を生かし、多くの情報伝達をする。また、デザインなども見やすさ、使いやすさを求めることにより、住民からの満足を得られる	ホームページの内容や見やすさ・使いやすさを充実することにより多くのアクセスを得る		市民全般の評判からみた当該項目のホームページの内ページを満足・普通と回答した人数をアンケート回答者数×100			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
市政情報の新聞への掲載件数(件)	574	650	800	市政に関する情報を多く発信することにより、新聞へ記事掲載を図る。この掲載率が高まることにより、多くの住民に情報伝達が図られる	市政に関する記事の掲載状況を表す指標		新聞に掲載された記事の数			スクラップブックの実数
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年					
市ホームページの年間アクセス件数(件)	186,076	200,000	220,000							
市長へのEメール年間件数(件)	102	110	150	現在、実施している市長へのEメールをPRすることにより、より多くの市民から市政に対する意見を収集する	市長へのEメールに意見が寄せられることを表す指標		市長へのEメールに寄せられるメールの数			市長へのEメールの実数
市民向けパソコン教室の参加者数(人)	228	200	200	市民向けパソコン教室は、過渡期より減少している現状だが、デジタルデバイス対策として最低数を維持する	パソコン教室の参加状況を表す指標		パソコン教室の参加者数			市民教室「パソコン教室」の参加者実数
市民向けパソコン教室の開催回数(回)	18	10	10	市民向けパソコン教室は、過渡期より減少している現状だが、デジタルデバイス対策として最低数を維持する	パソコン教室の開催状況を表す指標		パソコン教室の開催回数			市民教室「パソコン教室」の開催回数実数

5-1-2「市民参加・市民活動支援」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市政への市民参加の機会や場に対する満足度(%)	70.1	75.0	80.0	市民参加基本条例の制定などに伴い、総合的な施策を展開していくことにより、毎年1ポイント程度の増加を設定した	市政への見込めを示す指標		右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人数をアンケート回答者数×100			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
市民が主体となったまちづくり活動の活発さに対する満足度(%)	68.6	72.0	75.0	市民参加基本条例の制定、市民活動基本計画の策定などにより行政側の施策は実施されるが、市民の側の活動に直接結びつかない面もあるため、年に0.5ポイント程度の増加を設定した	市民協働の充実度を示す指標		右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人数をアンケート回答者数×100			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査
NPO・ボランティア活動などへの支援状況に対する満足度(%)	71.8	75.0	80.0	基本計画の策定、支援センターの設置など総合的な施策を展開していくため、毎年1ポイント程度の増加を設定した	市が市民活動を支えている状況を示す指標		右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・普通と回答した人数をアンケート回答者数×100			豊明市のまちづくりを考慮する市民意識調査



単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市民公募を行なっている審議会・委員会の数(委員会数)	6	8	10	専門性を求められる委員会等も多く、公募になじみにくいものもあるため、5年ごとに2増を目標とした	広報、ホームページなどを通じて公募を行った委員等の数	報酬条例別表に記載された委員等のうち、委員を公募している委員会数	市民協働課調査			
参加型の手法で策定される計画の割合(%)	100	100	100	今後策定される計画は、市民参加型の手法を当然なこととし、目標は100%とする。ただし、より高次に市民参加を求めることとする	委員の公募や、パブリックコメントなど計画策定の段階で市民参加の手法がとられていること	市民参加型手法で策定された計画数÷計画数×100	市民協働課調査			
市民協働事業の実施件数(件)	5	10	15	NPOに委託する事業は、そのNPOの持つ専門性・独自性に期待する面が大きいため、急激な増加は望みにくい。年に1事業増を目標とした	市が契約した委託事業のうち、相手方がNPOであるもの	NPOへの事業委託件数	各課調査			
市民活動室利用登録団体数(団体)	60	70	80	市内のNPO活動を支援するために市民活動室が提供されており、活動の広がりあわせて年間2団体程度登録団体を増加することを目標とした	市民活動室の利用登録している団体	市民活動室の利用登録している団体数	市民協働課資料			
市民情報サイト登録団体数(団体)	—	80	110	市民活動室登録団体にとどまらず、市内のあらゆる市民活動を紹介する総合的な情報サイトを目標とするため、サークル数等も目標数に入れている	市民活動情報サイトに登録された団体	市民活動情報サイトに登録された団体数	市民協働課資料			

5-1-3「コミュニティ」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
自治会活動など地域の活動状況に対する満足度(%)	75.6	80.0	85.0	コミュニティ活動の拠点となる集会所等はほぼ整備され、新たに自治会・町内会の活動を活性化させていくことは難しいが、現状維持を図ることを目標とした	コミュニティ活動の充実さを表す指標	右記アンケートの当該項目について、満足・やや満足・回答した人数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
単位施策の成果指標	現状値	目標値	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
町内会・自治会加入率(%)	79.4	85.0	90.0	都市化・国際化の進展に伴い加入率の減少も見込まれるが、各種施策の実施により現状維持を図ることを目標とした	町内会・自治会の組織状況を表す指標	町内会・自治会加入世帯数÷住民登録世帯数(外国人含む)×100	区交付金実績報告書等			

5-1-4「男女共同参画」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
附属機関における女性の割合(%)	22.9	30.0	35.0	男女共同参画プランでは、平成14年度までに25%、平成19年度までに30%、そして、女性委員のいない委員会の解消を図ると設定しているが、当該目標値に達していない。当面の目標である2010年の目標値を7年遅れとし、更に5年後の2015年の達成とした	女性の社会進出を表す指標	法令に基づく附属機関及び附属機関(委員会、審議会、調査会等)の委員会(以下委員会という。)女性委員の総数÷委員総数×100(※地方交付金(180条の5)に基づく執行機関の委員会への女性の登用状況を除く ※市議会議員を除く)	地方公共団体における市町村男女共同参画の形成又は女性の進出状況調査			

単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
市民の男女共同参画認知(理解度)(%)	14.2(1997年)	60.0	90.0	市民の理解を大幅に高める必要があるため	市民が男女共同参画をどの程度理解したかの指標	「男女共同参画社会」という言葉を知っていましたか。という設問に対して、「知っていた」と回答する割合	生涯学習共同参画社会に関する市民意識調査報告書			
職員の男女共同参画認知(理解度)(%)	38.8	100	100	全職員が理解する必要があるため	職員が男女共同参画をどの程度理解したかの指標	男女共同参画社会に関する職員意識調査データ報告書(市民協働課のアンケート調査)	男女共同参画社会に関する職員意識調査データ報告書(市民協働課のアンケート調査)			
男女共同参画に関する講座、教室等のメニュー数(種類)	3	10	15	男女共同参画形成のための方法論について、どのようにつけていくかの指標	男女共同参画形成のための方法論について、どのようにつけていくかの指標	メニューとでは種類であり、例えば、5回の場合には1回のカウントする	市民協働課調査			
とよあげ男女共同参画プラン実施進捗の割合(%)	20.7	60.0	100	全ての課が、あらゆる機会を通じて男女共同参画を市の施策として認識し、実践する	男女共同参画の考え、行方、行政(各課)がどの程度取り組んでいるかの指標	男女共同参画に関する各課(内実)の形成率を算出した。具体的組織と課数を100	地方公共団体における市町村男女共同参画の形成又は女性の進出状況調査			
市職員女性管理職登用(%)	16.3	20.0	25.0	女性の行方における責任の登用に際しては、女性管理職の割合を高める	女性管理職の割合を高める	課長職以上の女性管理職総数×100(現状値:3名/幹事/43名)	市民協働課調査			

5-2-1「国際化・国際交流」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
外国や地域に住む外国人との交流の状況に対する満足度(%)	63.8	70.0	75.0	2003年に豪州シェパトン市と友好提携したことを機に、今後10年間でオーストラリアとの交流を増加させ、満足度を高める。また在住外国人との交流の大切さも地域の中でイベント等を通じて行い、10年後には、4人に3人が満足している状況にする	市民と外国人との交流に関する意識指標	総回答者数のうち「満足」「やや満足」と回答した人の割合の合計	豊明市のまちづくりを考える市民意識調査			
単位施策の成果指標	現状値	目標値	現状値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
日本語教室の受講者数(人)	52	70	100	現状の日本語教室受講者を増加させ、市内での生活を円滑に行える外国人を増やすため、最初の5年間で4割、後半の5年間で2割の増加を見込んだ	国際交流活動の活発さを計る指標	日本語教室の受講者数	TIRA主催日本語教室の受講者数			
語学教室の受講者数(人)	50	100	100	現状はTIRA主催の語学教室だけであるが、市主催でも行うこととし、5年後には受講者数を2倍にする	国際交流活動の活発さを計る指標	語学教室の受講者数	TIRA主催語学教室の受講者数			
交流イベント参加者数(人)	200	250	300	在住外国人と、市民が触れ合う機会であるイベントを増加させ、お互いの友好を図るため、参加者数を10年で1.5倍にする	国際交流活動の活発さを計る指標	交流イベント参加者数	TIRA主催国際交流パーティー			

TIRA会員数(人)	247	300	350	国際交流協会の活動を活発にし、同協会への理解を深め、会員数を拡大することにより、国際化の進展を図る。今後10年間で100人の増加を計画する	国際交流協会の活動を活発にし、同協会への理解を深め、会員数を拡大することにより、国際化の進展を図る。今後10年間で100人の増加を計画する	TIRA会員数	TIRA総会資料
外国人職員採用数(人)	0	2	3	急増する在住外国人へのサービスの提供を目的とし、今後10年間で教育・福祉・総合部門で各1名ずつ配置する	在住外国人へのサービスの提供を目的とし、今後10年間で教育・福祉・総合部門で各1名ずつ配置する	外国人職員数	

6-1-1「広域連携」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
広域で処理している事務事業数(件)	3	5	7	広域処理を実施している事務事業は広域連携を表わす最適な指標と考えた	水道、ごみ処理等広域処理する事務事業	物品、委託等の指名受付業務、受託業務、地域分権等の共同研究、広域イベント	中部水道企業団、東部知多衛生組合、入札参加資格審査申請の受付(工事等)	現状値算出の資料・出典		
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
広域利用ができる施設数(箇所)	0	2	3	広域利用のできる施設を増やすことは、広域圏の住民の利便性向上に寄与すると考えた	図書館等広域利用(貸出)、体育館(利用料の均一化)等	図書館、体育館、コミュニティバス				

6-2-1「行政運営」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
インターネットの申請など市民サービスの利便性に対する満足度(%)	70.6	73.0	76.0	行政手続の簡便化は、いつでもどこでも誰もが容易に利用できる、住民の反応を感じ、満足感を高める環境をつくること	市民意識調査から利便性への満足指数	右記のアンケート項目の満足、普通と回答数÷アンケート回答者数×100	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査			
電子申請の届出可能申請書類数(件)	28	70	100	あいち電子自治体推進協議会検討部会の進捗に併せ、行政手続の電子化種類を設定する	行政手続のうち電子手続実数	行政手続の電子手続稼働計画	豊明市自治体協働情報化構築に基く、あいち電子自治体推進協議会資料			
統合型地理情報システム掲載情報数(件)	0	100	200	システム構築し、行政事務の高度化と市民サービスの向上のため、重複管理と投資を防止しながら情報を蓄積する	共有空間データベースに登録するレイヤ実数	登録実数	豊明市地理情報システム基本計画			
LGWANアクセス数(利用回数/月)	100	300	1,000	国や地方公共団体とメールや電子文書交換により通信基盤の利用を高める	サーバを透過する情報通信数	サーバの接続数	e-Japan重点計画			
行政評価の実施事業数(件)	300	400	500	事業の進捗状況を進行管理する	事務事業評価の実施事業数	平成14年度各課1事業 平成15年度各課1事業 平成16年度職員1人1事業				
行政評価による事務事業の改善件数(件)	0	25	50	評価による改善の実施状況	改善した事業の実数					
指定管理者制度の実施件数(件)	0	6	10	民間委託の推進を促す	実施件数	図書館、文化会館、福祉センター、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター、老人福祉センター、保育園、児童館				

6-2-2「組織運営・人材開発」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
受付・窓口などにおける市職員の応対に対する満足度(%)	71.2	75.0	80.0	組織運営が市民に影響を及ぼす指標として採用	市民意識調査による結果	10年には7.7%目標とする。5年には10%に、不満を3.3%に、することを目標とする	豊明市のまちづくりを考えた市民意識調査			
職員数(人)	545	540	491	職員数削減に向けた定員適正化計画を推進するとともに年齢構成に偏りがない職員構成の適正化を図ることを目標とした。なお、目標値は、指定管理者制度(図書館、老人センター、文化会館、子育て支援センター)の実施を踏まえたものである	正規職員数の減少を示す指標である	団塊世代者の退職者増加に伴う職員採用にさらなる年齢層の平準化を図る。2015年に職員数491人(現状値に対し10%54人の削減)を目標とする	現状値は、第4次行改定数で堅持した職員数であり、平成16年4月1日の実職員数である			
公募研修及び自主研修の参加者数(人)	67	80	100	人材育成基本方針に基づき、職員の自己啓発意識を高揚させ、自主性や資質の向上を図り、もって職員のシグナタ化を目指した諸施策を展開していくが、自らの意思で積極的に自己研鑽のための研修に参加する割合の向上を、現状値及び予算等を考慮した上で、職員数の約2割とした	能力開発の基礎として、自己啓発意識の高揚を促すための研修を実施する	中間目標値を15パーセント、最終目標値を20パーセントと定め、それぞれの目標職員数から算出し、10単位に修正した	豊明市職員研修概要(研修実績)			

6-2-3「財政運営」

基本成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
公債費比率(%)	7.7	9.0以内	7.7	財政健全化のために目標を設定	公債費の一般財源に占める割合	地方債元金償還(繰上償還を除く)一日償還に係る標準財政規模×100				
単位施策の成果指標	現状値			目標値			目標値設定理由	指標の定義	算出式	現状値算出の資料・出典
	2004年	2010年	2015年	2004年	2010年	2015年				
収納率(全体)(%)	96.95	97.00	97.00	歳入を表す最適な指標	収入済額/調定額×100					
収納率(当該年度分)(%)	98.88	98.90	98.90	歳入を表す最適な指標	収入済額/調定額×100					
収納率(滞納繰越分)(%)	31.84	32.00	32.00	歳入を表す最適な指標	収入済額/調定額×100					